



「♪春よ来い 早く来い♪」という歌がある。冬に閉じ込められた幼子が早く外へ出たい、という春を待ちわびる歌だ。また「お正月」という歌も楽しい正月行事を夢見る歌

である。こんな歌がいくつもあるのは昔は楽しいことなどが限られていたからだろうか。また現代みたいに有給休暇がない時代でも正月とお盆は貴重な休日で皆楽しみにしていたようだ。歌謡曲にも「盆と正月一緒に来たよな」というものもあった。

春よ来い



草野 義輔

り返ると構想3年後基本設計に入り1年、実施設計でさらに1年、本建築で1年と思いつてから完成まで6年余りの時間がかかった。

次第に形が見えてくる建築の段階はもちろん期待感あふれる時期ではあったが、頭の中の構想が平面になり次第に立体になっていく基本設計の過程

が、思い返すと夢の実現に向けて一番心弾む楽しい時期だったように感じる。楽しい夢を感じる時は人それぞれだが、冒頭に書いた昔の歌の歌詞が楽しいこと、うれしいことが来る直前の気持ちを表しているように、実現の少し前が一番、ということだろう。

季節はまさに春到来だがコロナ禍で自粛の日々。歌の幼子同様、気楽に外へ出られる「春よ来い」と願う毎日である。

私は私学の経営に携わって40年余り。この間、いくつもの建築を手掛けてきた。近年では地域で多少話題になった昭和学園の新校舎が最大規模。振

(昭和学園高校理事長・日田市)